

泉町)の計4カ所の訪問先へ、宇都宮大学教職員と学生35名が参加しました。

午前中は、コレージオ・ピタゴラスで授業見学や生徒たちとの意見交換会を行いました。生徒たちや先生がたの学習や教育に対する熱い気持ちが伝わりました。私はブラジル人ですが、私のブラジル人に対するイメージをも変え、日本に住む同じブラジル人の一人としてかれらを誇りに思いました。

ブラジルの伝統料理である「シュハスコ」の

昼食を済ませ、午後は、グループに分かれて3つの保育園を訪問しました。外国籍が住民の15.5%（平成26年9月30日現在、大泉町人口統計による）を占める大泉町らしく、保育園でも外国籍園児の割合が高く驚きました。また、多様な園児に対する保育という面で、各園独自の取り組みときめ細やかな配慮に感動しました。

以下は、今回訪問した4つの教育および保育施設について、学生代表による報告です。

グローバルサマーツアー2014 ①コレージオ・ピタゴラス太田校

宇都宮大学国際学部4年

周 管 夏 美

コレージオ・ピタゴラス太田校を訪問して、ブラジルの教育システムに従った授業を見学出来たことは、私にとって貴重な経験となりました。また、そこで学ぶ生徒や先生方と意見交換したことは、お互いの理解を深めるよい機会になったと思います。



日本とブラジル、二国の狭間で育つというのは、社会の中での問題や困難にぶつかることも多いと思いますが、生徒たちがそうした問題に目を反らすことなく向き合い、将来を考えている姿に私自身刺激をもらいました。生徒を尊重し、将来は日本とブラジル両方に適応できる教育をする、という学校の方針が生徒を支えていると思いました。

生徒も先生も日本が大好きだと話し、もっと日本人と交流する機会がほしいと話していたことが嬉しかったです。今回はあまり時間がなかったので、次はぜひ宇都宮大学を訪れてもらい、もっとお互いについて語りあいたいです。

グローバルサマーツアー2014 ②みよし保育園

宇都宮大学国際学部4年

村 里 杏 子

私たちのグループは8名で私立みよし保育園を訪問しました。園舎の廊下を奥へ進み、5歳児の教室に入った瞬間、元気いっぱいの子どもたちが出迎えてくれました。そのクラスには数名のブラジル国籍の園児が在籍していました。国籍や外見、文化の違いなど関係なく楽しそう

に過ごしている子どもたちを見て、“共生”の原点を見ることができた気がしました。

子どもたちとの交流の後、かつては外国人児童生徒として大泉町で育ち、現在はみよし保育園で働いている2名の先生たちとお話ことができました。先生たちは、日本語とポルトガル語の両